

五輪原（ごりんぱら）から

12月15日

第61号

「12月9日 ばんだい音楽鑑賞会
～新型コロナウイルスの収束への祈りを込めて～」を開催しました。

12月9日、磐梯青少年交流の家主催、猪苗代町教育委員会共催事業、「ばんだい音楽鑑賞会 ～新型コロナウイルス収束への祈りを込めて～」を猪苗代町生涯学習施設「まなびーな」で開催しました。

全国で活躍する演奏家6名をお招きし、オペラの楽曲、文部省唱歌、古関裕而作品から、などアンコール曲を入れますと22曲を演奏していただきました。

6名の内訳は、ソプラノ歌手2名、テノール歌手1名、バリトン歌手1名、そしてブルート奏者、ピアノ奏者です。各種コンクールで優秀な成績を持ち、現在も全国で活躍し続けている方々です。

新型コロナウイルス感染拡大が一向に収束しない中、実施できるか不安な日々を数えながら本番の日を迎えました。

聞いていただく方々は、猪苗代町の中学生全員です。猪苗代中学校、東中学校、吾妻中学校の1年生から3年生まで約400名と校長先生始め教職員の方々です。

感染拡大防止のため、大型バスを通常の2倍、10台準備し、二人がけのいすを一人で座ってもらい、マスク着用、そしてフェースシールド全員着用しての鑑賞会です。会場のまなびーなのガイドライン通り、3密を避け、午前中1公演、午後1公演としました。

開会式で、私から次のような挨拶をしました。

令和2年度 ばんだい音楽祭 新型コロナウイルス収束への願いを込めて

猪苗代町内の中学生の皆さん、みなさんこんにちは。ただいまご紹介をいただきました、当交流の家 の 福士寛樹と申します。どうぞよろしく願いいたします。この音楽会を開催できるかドキドキしながら皆さんとお会いできることを心待ちにしていました。

まず、皆さんとともに今般の新型コロナウイルスにより、お亡くなりになられ

た方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、闘病中の方々にお見舞いを申し上げます。

さらには、医療関係者の皆様方の献身的な命がけの診療・看護・治療に心より感謝と敬意を表します。

皆さんの学校も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、臨時休校期間が長く、皆さんは、お友達に会えない寂しさや授業を受けることができない、部活ができないもどかしさを感じた時期もあったことと思います。

当交流の家も5月22日まで完全受け入れを中止し、6月12日から受け入れを再開しました。キャンセルが相次ぎ、例年の5分の1程度の利用にとどまり、非常に寂しい思いをしています。にぎやかにフィールドを駆け回る子供たちの明るい声が少なく、残念な気持ちでいっぱいです。

そこで、そのような寂しい気持ちや新型コロナウイルスの早期収束を願い、アート夢プロジェクト「ばんだい音楽鑑賞会」～新型コロナウイルス収束への祈りを込めて～を実施する運びとなりました。実施に当たり、ぜひ町内の中学生の皆さんに聞いていただきたい、一流の音楽に触れることにより、新型コロナウイルスの一日も早い収束を願いながら、日ごろのストレスを軽減させ、明日からもっと頑張ろうという元気な気持ちになってほしいと思います。

今日は、全国で活躍するアーティスト6名をお招きして、歌や楽器の演奏をお楽しみいただきます。ソプラノ2人、テノール、バリトン一人ずつ、そしてフルートとピアノ。どうか、みなさまにおかれましては、演奏全部で18曲プラスアルファがあると思います。ぜひゆったりとした気分でお聞きください。中には皆さんから頂戴したリクエスト曲や朝ドラ「エール」で演奏された曲もオペラの有名な曲も学校で学習した曲も準備していただきました。どうか、約90分になりますが、一流の音楽家の皆様の演奏を存分にお楽しみいただければと思います。

このたび、実施に当たり、共催してくださった猪苗代町教育委員会、そしてご協力いただいた中学校の校長先生をはじめ先生方、会場を快く提供してくださった、まなび一なの関係のみなさま、そしてお忙しい中、またコロナ禍の中、遠路猪苗代まで来てくださった、アーティストの皆様にも心より感謝を申し上げます。

結びに、中学生の皆様にとってこの時間が有意義で充実したものになりますことをご期待申し上げますとともに、皆様方のご健勝と学習や部活動でのさらなるご活躍をお祈り申し上げ、挨拶とさせていただきます。

今日1日、どうぞよろしく申し上げます。

出演者、演奏曲目等は当交流の家ホームページをご覧ください。

全22曲の公演を熱心にじっと聴き、各学校への帰路につく中学生の顔には満足の表情。実施してよかったと思います。

(文責 所長 福 士 寛 樹)